



国際会議 海外派遣・留学 主要外国人の来訪 国際協力 余剰兵器解体プルトニウム処分協力

1. 国際会議

1.1 国内

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2005年 1月17～18日	大 洗	JNC/DOE（米国エネルギー省）核不拡散・保障措置協定に基づく常設調整グループ会合
1月25～28日	東 海	DOE サンディア国立研究所との輸送時の核物質防護に係る共同研究ワークショップ
2月16～18日	大 洗	Generation IV Project Management Boards Meeting
1月11～12日 2月28日～3月2日 及び3月10日～11日	瑞 浪 東 海 東 京	JNC/NAGRA（スイス放射性廃棄物管理共同組合）廃棄物協定に基づく技術検討会議 / 技術レビュー会合

1.2 国外

期 間	開 催 場 所	会 議 名
2005年 1月18～20日	独 国 カールスルーエ	独 国 カールスルーエ研究所（FZK）との高レベル放射性廃棄物管理に係る技術会合
1月24～26日及び 3月21～24日	露 国 デミトロフグラード	露 国 原子炉研究所（RIAR）とのBOR 60照射試験に係る技術会議
2月7～11日	露 国 デミトロフグラード	RIARとのMOX燃料製造施設の改造・増強に関する技術会議
2月28日～3月2日	露 国 デミトロフグラード	RIARとの解体核プルトニウムによるBOR 60用MOX振動充填燃料集合体の実証製作及び照射試験に関する技術会議
3月3～4日	露 国 モスクワ	BN600バイバック燃料によるロシア解体核プルトニウム処分のための日露共同研究に関するレビュー会議

2. 海外派遣・留学

期 間	派 遣 ・ 留 学 先	目 的
2005年1月～2006年4月	米 国 アルゴンヌ国立研究所	新 型 燃 料 の 安 全 性 試 験
2005年1月～2006年1月	仏 国 フェニックス発電所	燃 料 破 損 対 応 技 術 に 関 す る 情 報 交 換 及 び 関 連 施 設 の 運 転 等

3. 主要外国人の来訪

訪 問 日	訪 問 場 所	訪 問 者
2005年3月25日	東 京	仏 国 原子力庁（CEA）プラデル原子力局長

4. 国際協力協定

4.1 文部科学省原子力研究交流制度に基づく協力

- (1) 研究者の受入れ14名中の12名が研究を終了し、現在、受入研究者は2名である。同制度に基づく講師の派遣、合計6テーマについて既に5テーマを派遣し、今回1テーマを関係国へ派遣した。
- (2) 平成17年度の原子力研究交流制度の応募(40名)について事業所と受入を検討し14名の受入れを計画(東海2名、大洗6名、ふげん4名、敦賀2名)した。

4.2 国際特別研究員制度に基づく研究者招へい

- (1) 同制度による研究員は現在、合計7名が在籍(東海3名及び本社、敦賀、大洗、瑞浪の各1名)している。
- (2) 国際特別研究員の17年度受入れに関して17年1月開催の国際協力関係会議で採用1名(幌延)及び7名の延長が承認された。
- 現在、研究者の採用及び延長に関する手続き実施中。

5. 余剰兵器解体プルトニウム(解体プル)処分協力

5.1 解体プル処分に係る日露共同研究

- (1) ロシア解体プルトニウムを高速炉BN600で燃焼処分する3体デモ照射は、ロシア原子炉科学研究所(RIAR¹⁾)との共同研究契約に基づき実施してきたところ、3月に最終報告書を受領し、共同研究を終了した。本共同研究では、約20kgの解体プルトニウムを燃焼処分し、使用したバイバック燃料に関する種々のデータを収集することができた。
- (2) RIAR施設整備は、RIARとの共同研究契約に基づき、BN600²⁾炉心へバイバック燃料を供給する設備の増強のため改造を実施している。改造

後の設備性能を確認するために燃料集合体1体を試作することにしており、この検査項目等の検討を継続中である。

- (3) 21体デモ処分は、解体プルトニウムを振動充填法によりMOXバイバック燃料集合体(21体)とし、高速炉BN600で燃焼処分するプログラムであり、RIAR(株)パスコとの共同研究を実施している。燃料製造工程に一部、遅れがあるものの、全体としては順調に研究を実施している。なお、RIARにて1月31日~2月3日に第3回のレビュー会合を、3月9~11日に第4回のレビュー会合を開催し、3月に納入予定の技術報告書について確認し、燃料検査の方法、PIEの詳細計画等について打合わせした。3月28~31日にRIARにて燃料の完成検査等を実施した。
- (4) 日露共同研究のレビュー会合(第2回)を3月3~4日にモスクワにて実施した。会合では、3体デモ照射、施設改造、21体デモ処分、安全評価(昨年8月に終了)の他、ブランケット削除等の米露の共同研究、BN600の寿命延長等の露の実施項目について、研究の進捗と今後の計画について検討した。

5.2 解体プル処分に係る海外の動向調査

- (1) 米露間で検討中の核兵器解体に伴って発生するプルトニウム処分に係る米露の取組み及びその他の国際動向について、情報収集の契約に基づき、公開資料、米国行政担当者等へのインタビューを通じ、調査を行っている。
- (2) 上記のレビュー会合において、BN600ハイブリッド化に向けての米露及び露の取組み状況につき動向を把握した。

- 1) RIAR: Research Institute of Atomic Reactors 原子炉科学研究所
- 2) BN600: Buistrui Neutron (Fast Neutron) 600 ロシアの高速原型炉